例題１

薬物のタンパク結合に関する次の記述のうち，正しいのはどれか。

１．ワルファリンは，血中に入ると極めて速くアルブミンに結合し，その反応は不可

逆的である。

２．血漿中でアルブミンに結合したイブプロフェンは，生体膜を通過することができ

ない。

３．インドメタシンは，α1- 酸性糖タンパク質との親和性が，アルブミンとの親和性

よりも高い。

４．リドカインは，アルブミンとの親和性が，α1- 酸性糖タンパク質との親和性より

も高い。

５．ジアゼパムは，アルブミン分子上の結合サイトⅠに結合する。

【正答：２】

例題２

片頭痛とその治療に関する次の記述のうち，正しいのはどれか。

１．片頭痛の患者は，女性よりも男性の方が多い。

２．遺伝的要因は，片頭痛の発症に無関係である。

３．片頭痛発作の主な誘因は，ヒスタミンである。

４．非ステロイド性抗炎症薬は，片頭痛の治療に用いられない。

５．片頭痛発作の急性期の治療には，トリプタン製剤が有効である。

【正答：５】